本科

(4年

各課程は、

まちづくり

イトウ保護

カメラレポー

発信@みなくる

子育て支援センター

保健師です

いなだこう **「稲田 浩** | ようこそ

4月から町立幾寅診療所に石丸医師の後任として、当麻町から稲田浩医師(50歳) が着任となりました。

これまでの経験を生かし、「大任と感じるので、医師として町民の皆様に愛されるよ う地域医療に頑張って行きたい」と話されました。

ーよろしくお願いしますー



^{ほりうち} 堀内

習していましたが、この日は

とても楽しみにしていま

などでフロアカー

子どもたちは、

体育の時間 リングを練

だいすけ

部の皆さんとのフロアカーリ2月15日に、連合会女性

ング交流を行いました。

フロアカーリング交流

南富良野町・富良野広域連合串内草地組合新規採用職員を紹介します ○富良野広域連合串内草地組合 ○富良野広域連合串内草地組合 ○保健福祉課保健指導係 ○建設課土木係 ■4月1日採用 4月2日採

くお願いします

まさよし **正善** と も き **智紀** ふなやなぎ 船柳 はそえ、磯江 ほしの **星野** 紗耶

よろし

の力をお借りして、

内部が3

ていただき、

PTAをはじめ地域の青年いただき、仕上げました。

メートル四方、高さ2メー

千 新たな学びを誓う 里大学 始 業 定

式では、 進級された在学生38名が出席の中、 ぞれ本科や大学院、 行われました。 業式が保健福祉センターみなくるで 学「千里大学(上林康政学長)」の始 れ本科や大学院、専修科において始業式にはこれまで在籍し、それ 4月12日に南富良野町の高齢者大 学長より「長い人生の中で

会長である、 (下金山) が、 学生を代表し千里大学自治 大学院2年生の東雅雪 「学び続ける姿勢 身

対象に、 2 • 第 4 木 千里大学は町内の60歳以上の方を 第

誓いを述べる東さん

と、ほんの一部に過ぎませんが、ひ本校の中で学ぶのはひと月に2日間 につけ、今後の糧にしていただきた とつ・ひとつの授業を大切にし、

い」と式辞を述べました。 また、

成長できる」と述べられていました。をもっていれば人は幾つになっても

われていまに授業が行 曜日を基本

れ進級できることになっています。年間)に分かれ、履修によりそれぞ間)・大学院(2年間)・専修科(4 〇平成25年度在籍者数

大学院 本 12 名 9 名 ・専修科

22 名

シリーズ学校だよい 24

○保育所保育士

由香里

石川

各学校の取り組みを紹介します。



▶▶北落台小学校 ▶▶▶

(保健師)



そして焼き肉の味は最高で、

完成させていただきました。

かまくらの中で食べる豚汁、

ルを超える大きなかまくらを

グラウンドでは、

ていただくなど、卒業・進級ビルのボブスレー体験も行っ

の大きなプレゼン

トになり

大人と子どもの混合4チ

競技を開始、

雪ん

に
集会

今年の3月1

Ó

雪像作

や、かまくら作りを行う「雪

んこ集会」

を行いました。

雪像は、

児童が6人という

も歓声を上げながら、競技をいただいたJA女性部の方々子どもだけでなく、参加して 楽しみました。 した。 楽しいひとときを過ごさせて 緒に食べ、 本格的な試合ができるとあっ ムに分かれて、 いただきました。 トのケーキをいただくなど、

競技終了後には、

給食を一

のかからない程度の大きさで少人数であることから、負担

雪ブロックをPTAに用意し

さらにはプレゼン

本町の貴重な森林資源 ③火入れなどの対策 ・共同火入れの指導。

緑豊かな森林の火災防止にご協力を

はじめに平成24年度中において林野町内外の関係者57名が出席する中 本年度は次の事項を重点として予消 予消防対策について審議が行われ、 林愛護組合に感謝状が贈呈された後、 火災皆無の実績を挙げた全5地区森 策協議会が、 野火災の絶滅を期することを目的と の整備と予防思想の啓発を図り、 を林野火災から守るため、予防体制 くるにおいて開催されました。 して、平成25年度林野火災予消防対 4月9日、 保健福祉センターみな 林

43 名

①入林者に対する対策 はだしいときは、一般者の入林を・警報(通報)発令時や乾燥がはな

②非常警戒対策 る。常警戒として一般者の入林、常警戒として一般者の入林、 湿度40%以下、 続5日以上降雨のないときは、 禁止する。 風速了m以上、 火入 非

巡視の強化を図

も林野火災の防止にご協力をお願い定されていますので、町民の皆さんまでの期間が林野火災危険期間に設 いたします。 防の推進を図ることになりました。 林野火災が発生しやすい 6月30日

燃料又は引火性薬剤のある付近で

機械に燃料を補給するときは、

必

は、絶対に火気を使用しない

ずスイッチを切り安全な状態にし

④林内事業者対策 ・林内事業者は、

の際は、

の際は、一切の火入れなどを中止警報(通報)発令や気象状況急変

する。

⑤機械力導入に対する対策 配置して警戒体制を図る。定め、かつ事業区域内に巡視員を 火気取扱責任者を



5 広報みなみふらの No.686